Γ

「ポリファーマシー スクリーニングシート」を 希望者に配付します

ポリファーマシーおよび薬剤起因性老年症候群を簡便にチェックできるツールとして、国立高度専門医療研究センター医療研究連携推進本部(JH)事業でスクリーニングシートが作成されました(主任研究者:溝神文博)。本シートは、国立長寿医療研究センターを含む国立高度専門医療研究センターにおいて、ポリファーマシー解消の推進を目的に病棟業務で既に使用されているものです。

臨床薬理学集中講座に参加された方を始め、臨床薬理研究を推進される皆さまに病棟業務として本シートをご利用いただき、使用実績や使用感などを調査する**観察研究**や、さらには本シートの効果を検証するような**介入研究**など、ポリファーマシーに関する**多施設共同研究の実施**に繋げたいと考えています。

本シートの配付を希望される方は、お気軽にご連絡ください。

【連絡先】keisuke@ncgg.go.jp

【JH事業の詳細】 <u>https://www.japanhealth.jp/project/junior_researcher/2021/post_6.html</u>

(代表:国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター 鈴木 啓介)

入院目的	W科:
週間以上の場合、薬剤起因性老年症候群評価シートを確認	ŧ 7
○その症状は、薬の副作用として今も微純的にありますか? (アレルギー腫 ○なし ○あり (
)
)
)
一般用医薬品・ サプリ ○あり ()
お薬手帳の活用 お薬手帳は使用されていますか?	
○なし ○使用あり(持参) ○使用あり(未持参)	



